

# 第 1 回経済常任委員会会議記録

|   |  |            |          |
|---|--|------------|----------|
| 開 閉 会<br>日 時  | 平成 26 年 5 月 27 日 (火曜) 13 時 30 分 開会     |            |          |
|   | 休憩 14 : 22 - 14 : 30 14 : 40 - 14 : 41 |            |          |
|   | 15 時 02 分 閉会                           |            |          |
|   |  |            |          |
| 会議場所  | 役場 3 階 第 1 委員会室                        |            |          |
| 出席委員<br>氏 名   | 委員長 常通 直人                              | 委 員 正村紀美子  | 議長 広瀬 重雄 |
|   | 副委員長 齋藤 幸子                             |            |          |
|   | 委 員 小椋 孝雄                              |            |          |
|   | 委 員 柴田 正博                              |            |          |
| 欠席委員<br>氏 名   |  |            |          |
| 会議に出席<br>した説明員  | 商工観光課長                                 | 日下 勝祐      |          |
|   | 商工振興係                                  | 梅森 祐之      |          |
|   | 水道課長                                   | 白木 雅博      |          |
|   | 水道課長補佐                                 | 西川 一浩      |          |
|   | 水道課長補佐                                 | 清水あけみ      |          |
|   |  |            |          |
|   |  |            |          |
|   |  |            |          |
| 事務局職員   |  | 事務局次長 剣持和裕 | 書記 大石真澄  |
| 『会議に付した事件と会議結果など』   |  |            |          |
| <p>1 開 会<br/>委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明。</p> <p>2 議 件<br/>(1) 調査事項<br/>ア 土地売買予約契約（芽室東工業団地内）について・・・資料 1<br/>担当課長より説明。質疑なし。</p> <p>イ プレミアム商品券販売事業について・・・資料 2<br/>担当課長より説明。</p> <p>・齋藤委員：消費税増税は、かなり前から分かっていたこと。本来なら当初予算で計上すべきものではないか。</p> |  |            |          |

- ・ 日下課長：平成 25 年末より協議していた。協議の結果、増税後の動向を見極めて対応するとの結論に達したことから今回の実施となった。町が事業主体であれば実行計画に記載が必要だが、今回は、商工会が主体となる支援事業である。
- ・ 齋藤委員：経済対策は先を見越しての実施が必要。昨年末から協議していたのなら、もっと早い対応が可能だったのでは。
- ・ 日下課長：消費の落ち込みは予想できたが、どの程度になるのか見極めが必要だった。
- ・ 齋藤委員：消費税率 10% が実施の際は、同様の支援を実施するのか。
- ・ 日下課長：今回の実施結果の検証が必要。今回と同じような消費動向であれば経済対策は必要と考えるが、手法はプレミアム商品券ありきではない。
- ・ 齋藤委員：事前に方針を決定しておくことが必要。消費動向を見極めてからの対策では遅い。今回の反省を次回に活かすべき。
- ・ 日下課長：増税以外にも消費動向を見ながら経済対策を実施していきたい。ご意見を参考にしたい。
- ・ 小椋委員：前回（H21 年）実施時には、プレミアム商品券事業は「商工業者には利益があるが、町民には恩恵がない」との声があった。当事業は町民還元が主目的であることを理解してもらえるよう、きちんと PR してほしい。
- ・ 日下課長：強く PR したい。
- ・ 小椋委員：商工会員以外の参加店からの負担金徴収の考え方は。
- ・ 日下課長：商品券の交換手数料は全ての事業者から徴収しないことで決定しているが、参加負担金（印刷費などの経費部分）の有無については協議中。
- ・ 小椋委員：商工会への加入促進も必要なこと。会員以外の参加店へ適切な対応をお願いしたい。
- ・ 日下課長：今回の事業は町民還元が主目的であり、参加店を商工会員に限定しなかった。ご指摘を受けて、検討したい。
- ・ 正村委員：日銀が発表した道内消費動向では、増税による消費の落ち込みは回復傾向にあるとことだった。この時期の実施は適切か。
- ・ 日下課長：回復傾向を更に後押しし、消費喚起の起爆剤としたい考え。
- ・ 常通委員長：実施要領を作成したのはどこか。また、実行委員会の構成は。
- ・ 日下課長：要領案は商工会で作成したもの。実行委員会は、町の支援実施が決定後組織する。町は実行委員会構成員ではないが、内容把握のため会議には同席する。
- ・ 常通委員長：支援事業であれば、実行計画や総合計画に記載がなくても実施可能との説明だったが、今後も総合計画に記載がない事業をイレギュラーとして実施するという事か。
- ・ 日下課長：H25 実行計画には記載がないが、総合計画には「消費喚起対策」として明記されている。総合計画にそった実行計画であり、次回実施の場合は実行計画に掲載し、実施を検討したい。

ウ 芽室町簡易水道設置条例の一部改正について・・・資料3

担当課長より説明。

- ・正村委員：河北浄水場の廃止時期は。
- ・西川補佐：道営事業のため、明確な時期は説明できないが、パイプラインの更新や南平和浄水場が稼働してからの廃止となる。
- ・正村委員：送配水管の更新としてH26に300万円の予算が計上しているが、新しい浄水場へ配水するためのものか。
- ・白木課長：計画給水量が2倍程度に増えるため、給水区域によっては管を太いものに更新することが必要なため。
- ・柴田委員：南平和の水質はマンガンが多く、ろ過機を使用しているが、対応として十分なのか。
- ・西川補佐：水源が変わるわけではないため、マンガンの除去は今後も必要。処理技術も向上してきており、対応として問題ない。

エ 先進地事務調査の振り返りについて・・・当日配布資料4

次回委員会までに、全委員からの提出を求める。

3 その他

(1) 次回委員会開催日程 平成26年6月16日(月) 9:30～

・嵐山(株)決算状況 ・天空カフェ 他

(2) その他

- ・正村委員：今後の所管事務調査について、計画的に実施すべき。  
調査項目抽出のため、実行計画を資料として要求し、配布してほしい。
- ・議長：実行計画の公表について、議会としてどのように対応するか、議会運営委員会で協議が必要。足並みをそろえて対応すべき。

以上をもって、閉会する。

|      |     |    |       |    |    |    |
|------|-----|----|-------|----|----|----|
| 傍聴者数 | 一般者 | 0名 | 報道関係者 | 1名 | 合計 | 1名 |
|------|-----|----|-------|----|----|----|

記載のとおり報告する。

平成26年5月27日

経済常任委員会委員長 常 通 直 人